

基本情報

需要家	西川レバックス株式会社
事業の実施場所	栃木県宇都宮市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	西川レバックス株式会社 本社工場
太陽光発電設備の導入方法	自己所有
導入設備	太陽光発電設備：1,111.5kW (太陽光パネルの出力) 750.0kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：1,172.0kWh (蓄電容量) ※蓄電池は補助対象外で導入
稼働開始時期	2024年1月から発電開始
総事業費 (税抜)	344,000,000円
平均の年間CO ₂ 削減率 (削減量)	62.74% (327.80 t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

西川グループは、様々なパートナーシップとともに持続可能な社会の実現を目指している。その持続可能な社会の実現のために、本事業の目的を以下の通り設定し、実施した。

- ・2050年カーボンニュートラルの実現のために、自社グループの施設に自家消費太陽光発電設備を導入して系統電力の購入を削減しCO₂の排出削減を推進。
- ・また、安定した事業活動のためには常に施設が稼働できる体制が必要であり蓄電池を導入し、常に充放電を可能としたことでレジリエンスの強化を実現。
- ・大容量のレドックスフロー電池導入で発電した電気を優先的に蓄電し、平時において充放電を繰り返す設計としたことで、ストレージパリティ達成の実現に寄与。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

西川グループは環境方針として「自然資源及び、生産地の保護を重要課題とし、環境保全の観点からあらゆるモノづくりを行っていきます。」と掲げている。そこで今回の自家消費型太陽光発電設備の導入についてホームページにて開示したことで、対外的に広く情報発信し、多くの人々に対して環境改善に向けて行動していることを再認識していただけるように工夫している。

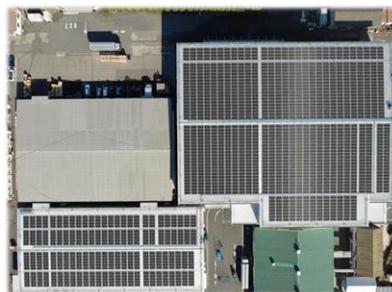
また、当社グループ内の他施設や地域の同業者・取引先に自家消費太陽光発電設備の導入を当社の取り組みを通して働きかけている。

令和5年度の実績として、グループ会社である西川ロジスティクスにも補助金を活用し、自家消費型太陽光発電設備および蓄電池設備を導入した。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



定置用蓄電池 (補助対象外)



キュービクル



パワーコンディショナー